

通いの場の人材確保に係る短期的に行う取組について（確定版）

・本部会で協議を行った取組結果をまとめた資料となります。

※黄色部分は訪問型支えあい活動の人材確保に係る課題と共通した課題です。（福祉と医療の総合情報サイト<かわにしサポートナビ>をかわナビとする）

目的	いただいたアイデア	実施内容
場所の確保・活用	空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・本部会の取組みを住宅政策課へ説明し、連携を検討する ・住宅政策課の行う空き家マッチングに介護保険課が空き家の利用申請を行い、地域活動に活用できる空き家の情報を共有する <p>➡住宅政策課と連携した空き家活用の仕組みを構築した</p>
	空きスペースの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・本市介護保険サービス協会や市社会福祉法人連絡協議会「ほっとかへんネット」の協力のもと、空きスペースの調査を行った ・かわナビの関係者サイトを利用して空きスペースの情報をマッピング化し、生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが地域のニーズとマッチングし、活用する <p>➡かわナビを利用した空きスペースの活用の仕組みを構築した</p>
広報・啓発	地域活動の広報	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、市広報誌に特集記事を掲載できるよう依頼している ・広報誌へ掲載することができる場合、本部会において特集記事の内容の協議を行う ・かわナビの周知と利用促進をすすめ、地域活動の周知を行っていく <p>➡多様な啓発方法を検討している</p>
	地域活動の動画等による多様な啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードや動画を活用した地域活動の啓発ができるよう検討する ・地域活動団体が動画などを活用できるよう住民間で教えあう場などを検討する <p>➡生活支援コーディネーターが取り組む</p>
	WEB配信の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが行う研修会や地域で行う研修会等のWEB配信などの促進 <p>➡生活支援コーディネーターが取り組む</p>
活動の継続・発展	支えあい（訪問・通いの場）活動者の全市的ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容ごとにネットワーク化を行い、勉強会や情報共有により各地域の活性化をめざす ・生活支援コーディネーターが多様な団体の集まりの場に参加し、自治会、民生委員、地区福祉委員やその他の活動者が横の連携を作る <p>➡訪問型支えあい活動者の交流会の開催（第1回令和6年1月29日開催）</p>

通いの場の人材確保に係る中・長期的に行う取組について（確定版）

・本部会で協議を行った取組結果をまとめた資料となります。

※黄色部分は訪問型支えあい活動の人材確保に係る課題と共通した取組です。

目的	いただいたアイデア	実施内容
場所の確保・活用	Wi-Fiの整備	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターが地域の声を聞き必要に応じて担当部署へ働きかけていく 第1層生活支援コーディネーターが公民館の状況等を調査する <p>➡各公民館には、既にWi-Fiが設置されている</p>
	移動支援（自家用有償旅客運送など）	<ul style="list-style-type: none"> 第2層生活支援コーディネーターが各地域の現状を本部会で把握し、地域住民が望む移動支援の実現に向けた施策の提案を協議していく <p>➡訪問型支えあい活動に対する補助制度を創設する</p>
広報・啓発	定年退職された層への啓発	<ul style="list-style-type: none"> 参画協働課、地域福祉課、市社会福祉協議会、市民活動センターと連携し、地域活動への参加に繋がる検討を定期的に行う 介護保険被保険者証の送付時に同封する普及啓発のチラシを作成 <p>➡令和6年2月より送付開始</p>
	専門職への地域資源の啓発 （地域住民による活動が介護サービスと同等の重要性を持つことの専門職への理解と周知）	<ul style="list-style-type: none"> 中央包括支援センターと連携し、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携を強化する 専門職の連絡会や交流会へ生活支援コーディネーターが出席する 第2層生活支援コーディネーターの地域ケア個別会議への出席を地域包括支援センターへ働きかける <p>➡生活支援コーディネーターが実務担当者会議やケアマネジャーネットワーク交流会、地域ケア個別会議等へ出席している</p>
活動の継続・発展	ポイント制度	<ul style="list-style-type: none"> 利便性のあるポイント制度について継続して検討していく。 第1層生活支援コーディネーターにおいて、他市町村の事例について調査する <p>➡（仮称）介護予防ポイント制度を創設する</p>
	待ッティングカード	<ul style="list-style-type: none"> 川西市地域人材マッチング（市民活動センター運営事業）の取組を活性化するため、参画協働課、地域福祉課、市社会福祉協議会、市民活動センターと協力、連携する 生活支援コーディネーターが地域活動団体や地域活動に興味のある地域住民に川西市地域人材マッチングのチラシを配付し、周知 <p>➡川西市地域人材マッチング事業と連携している</p>
	ケースワークとコミュニティワークのネットワーク化、フレーム化	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターやケアマネジャーと生活支援コーディネーターがより連携するためのネットワーク化 <p>➡生活支援コーディネーターが地域包括支援センターと地域診断の情報共有を行う 生活支援コーディネーターが地域ケア個別会議へ出席している</p>
	学生との協力	<ul style="list-style-type: none"> 包括連携協定を締結している大学へ生活支援体制整備事業の周知を行うことで、連携して取組が進められるよう関係づくりを行う <p>➡生活支援コーディネーターが取り組む</p>
他部署との連携	空き店舗の活用	<ul style="list-style-type: none"> 第1層生活支援コーディネーターが商工会に対して、生活支援体制整備事業の周知を行うことで、連携して取組が進められるよう関係づくりを行う <p>➡川西市商工会機関誌の送付時に調査票を同封し調査を行っている</p>
	学校の空き時間に教室等を利用	<ul style="list-style-type: none"> 第1層生活支援コーディネーターが教育委員会へ生活支援体制整備事業の周知を行うことで、連携して取組が進められるよう関係づくりを行う <p>➡生活支援コーディネーターが取り組む</p>
	子どもへの福祉教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校等でのボランティア体験の検討 川西市ボランティア活動センターとの連携 <p>➡生活支援コーディネーターが取り組む</p>

